

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成	年	月	日
事業所名				
ユニット名				
事業所番号				
記入者名	職名		氏名	
連絡先電話番号				

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>		<p>楽しく共に助け合い暮らしましょう。 その人らしさやペースに合わせて穏やかに暮らしましょう。 その人の力を発揮できるよう支援をしましょう。 を理念に掲げ共同生活の実現に向けている。</p>	<p>共同生活介護の実践のために、実際に生活を共にしている現在の入所者の言葉を折り込んだ理念を現在製作しています。</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>		<p>・職員間の理念は事務所に明示し、常に意識して実践できるように努力している。 ・職員は常に理念を頭にいれ業務にあたるように努力している。</p>	<p>・日常業務の中やミーティング時に例をだし職員の意識付けをはかる。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>		<p>・入所時契約時に重要事項説明書や契約書説明時に、説明している。 ・運営推進委員会を行った際、地域の代表参加者には理念の説明を行いました。</p>	<p>・家族をはじめ、地域の方々には広報誌などでグループホームの理解を得られるようにしていきたい。</p>
2. 地域との支えあい				
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>		<p>・朝市に出かけ地域の方々とお会いする機会を作り、入所者の方を通じて顔なじみの方にはグループホームに気軽に立ち寄って頂くよう声を掛けている。 町内のボランティアさんの定期訪問などを実施している。</p>	<p>・苑の行事には、御家族を通じて近所の方も誘って参加して頂けるように声を掛けて頂くようお願いしていきたい。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>		<p>・運営推進委員会の参加者を通じ、地域の方々との交流を始めていけるよう努めている。</p>	<p>・幼稚園や学校との交流する機会を作り、気軽に訪問し合えるようにもしていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・町の作品展に毎年出展している。作品を通じ、見学にみえた高齢者の方に楽しみや喜びを感じてもらえるよう取り組んでいる。・法人の夏祭りを通じ、他事業の在宅利用者・御家族の皆様に参加をしていただける機械を設けています。		・以前、地域の方に趣味で布ぞうりの作り方を教えて頂いた事がある。今後も、趣味を持った方々と交流する機会を作り互いに充実感をもてるようにしていきたい。
3. 理念を实践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・毎年、外部評価を受けることにより、改善点が明確になる。職員は常に活発な意見を出し合うようになり、改善に向けての努力ができるようになった。又、以前より介護への統一性ができた。		・評価を目安に施設の行動指針を見出し活用してゆきたい。
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進委員会での議事録は全員の利用者家族へ書面で報告している。今後、意見があればサービスにつなげている。		・運営推進委員会を利用し、地域からの声を聞くことでサービスにつなげていきたい。
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は町の福祉推進委員会に属し、市町村担当者との関係を持っている。またGH運営推進委員会にも市町村担当者にも参加して頂いている。		・運営推進委員会以外での関わりを職員も知ることにより、市町村とともに情報を共有し質の向上に努めていきたい。
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・職員が自己啓発の為、勉強会などに参加することはあるが、現在、支援の対象者がいない。・また法人が加入している愛知福祉オンブズマンの相談員の存在を知っていただき成年後見等の相談も行なっていることをお話している。		・スタッフ全員に研修の機会を作り、学んだことを全員が理解し活用できるようにしたい。・法律の内容だけでなく実際にあった事例などを活用してゆきたい。
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・全体会議で高齢者の虐待防止を説明し概要を説明しています。・心身ともに良い状態で介護できるように、体調管理やストレス解消をできるように努力している。		・職員間で注意し合える雰囲気づくりをしていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の施設見学を行い、面談調査を行っている。契約を結ぶ際は面談調査により抽出された課題や問題等を御家族と話しあい、行なっている。利用者の意思・行動を尊重する上で事故等がいつてくるが、束縛しないような生活支援など御家族と検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約や解約に関する話し合いや結果はスタッフにも解るようにしていきたい。
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・御家族や利用者様からの不満や苦情は報告書にまとめ上司に報告し、早急な対応に努めている。・また重要事項説明書内には苦情相談窓口として施設担当者以外に市町村及び、愛知福祉オンブズマンの連絡先を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情報告書を作成しており、内容によっては改善や介護方法の変更などを行なっている。
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月グループホーム新聞を発行して利用者様の、心身の変化や生活状況を知らせている。・お預かりしている現金は月に一度新聞と一緒に出納状況を報告している。・必要に応じ、緊急時は御家族に連絡し対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、職員の異動については知らせていきたい。
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・御家族からの意見や苦情が合った時は、関わった職員が、管理者及び職員に報告し、ともに共有することで今後に反映していけるようにしている。またご利用料のお支払いの際にご家族にご報告などしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・御家族の方が意見や苦情を気軽に言って頂けるような雰囲気づくりをし、信頼関係を築けるように引き続き、心がけていきたい。
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体会議などを実施している。また毎月の会議やミーティングにて話し合いをしているが、もう少し運営者と時間を掛けて話し合う事項等について時間を増やしたい意見もあるため機会を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくり話し合う時間をとりたい。
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りや行事の際は、その日の職員数を多く配置したりしている。退院の際などやむなくご家族が付き添えない場合は、職員にて移送等の対応をしている。 	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・多様な働き方の時代の為、離職等の事情はある。同敷地内の移動の際は、仕事の合間を見て職員が立ち寄りつたりして以前の関係をつないでいる方もいる。退職者も気軽に施設に来ていただいている状況もあるため、退職後も立ち寄りいただける雰囲気継続するよう事業所全体で意識してゆきたい。		・常に現場と管理者が話し合いを持ち、働きやすい環境づくりや人材育成に努め、退職者を最小限するよう引き続き行なう。
5. 人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・グループホームの運営基準などを説明しグループホームの介護保険上の役割を説明したりしている。外部研修参加を行なっている。・OJTの実践は今後検討が必要。		・職員やパートに関わらず、研修に参加しお互いに自己啓発をしていく。 ・他部署に関わらず、研修案内は回覧してほしい。又、各自でも研修の情報を提供し合い参加していきたい。・仕事の中で、バリテーション等、認知症の方へテクニックを今以上に実践し対応の変化を検討したい。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・あいち福祉ネットワークの参加等で機会を設けている。地域単位では交流する機会がない。愛知県グループホーム協議会の参加を小まめに行いたい。		・愛知県グループホーム協議会等に参加する機会を増やしたい。交流する機会があれば参加し、他のグループホームの見学もしていきたい。WAM-NETなどの媒体で他施設の取り組みなど情報収集に努めたい。
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・年1回の職員旅行や忘年会などを企画開催している・業務の内容の見直しなどを行い職員の業務改善を行なっている。		・業務改善をすることで以前より、ゆっくりリラックスできる時間を作ったが、まだまだ改善の必要があり話し合いをしている。
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・人事考課によって個々の業務状況を確認するが、職員個人ごとの業務目標等などの確認などを改善する必要がある。		・個人カンファレンスを行い、向上心を高めたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅に訪問又は施設で御本人や御家族と面談を行なっています。 ・アセスメント表を利用し、生活の様子や身体機能の状態を把握しながら、本人の話を傾聴し、その思いを受け止められるように努力している。身体機能以外にも個人の趣味や嗜好等の個人特性を聞き取っています。 	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅に訪問又は施設で御家族や御本人と面談の際、御本人には席をはずしていただき御家族との面談も同時に行なっています。 ・本人との面談結果について、御家族の立場にたって、御本人と御家族等の思いの違いの部分等を傾聴し、その思いを受け止められるように努力している。 	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談と利用者のアセスメント情報を元に希望サービス等を聞き取り対応している。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の見学や、サービス利用時はまず利用者との信頼関係の構築を重視しています。その為、サービス提供上、利用者のできると判断される役割を支援する前に職員を知っていただく覚えていただけるようにしています。 	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様と一緒に共同生活をしているという立場で考え、日々の生活の中で教えて頂くことや楽しめる環境をつくりながらお互いに支え合い楽しく生活をしている。 	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・面会時には職員も顔を合わせ、近況報告や雑談を交え、御家族との良い関係を保てるように努めている。 ・相談ごとがある時は、その都度電話連絡をし相談をしながら解決するようにしている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・アセスメントを通じ、得た、これまでの家族関係を踏まえながら、職員が間に入り良い関係を保てるよう心がけている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・利用者様との日常会話や御家族からの情報により、行きたい場所や馴染みの場所に個別に出掛ける支援をしている。又、週に一度は外出支援日を儲け、ゆとりの時間を大切にしている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・普段の日常生活の様子から、気の合う人、いつも一緒に居る人などを把握して、その時の状況により職員が間に入り、馴染みの関係ができるように支援している。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・他施設等に入所された場合は、行ってはいません。 ・在宅生活へ戻られる場合等は、行事への参加等の呼びかけを想定しています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の関わりの中で御本人の言動から思いを知るように心がけている。 ・把握した情報は記録に残し、職員全員が共有している。把握が難しい時は、ご本人の立場にたった話し合いをし、支援している。 	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・センター方式の一部を、御家族の協力を得て取り入れ、今までの生活歴やサービス利用を把握し、日々のケアに活かしている。 	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活状況や、心身の状態などを、各勤務者が記録している。 ・月末には一ヶ月の介護サマリーをまとめ、介護の継続につなげている。それを基に、毎月の会議で見直し検討をしている。 	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者を決め、その担当者を中心に、ご本人の望んでいる事、ご家族の意見や要望を伺いアセスメントから得られた情報を客観的に分析し、その入所者様にあったケアプランを作成している。全員が同じ方向性でケアを行うことができるよう話し合いを行っている。 	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月カンファレンスにて、スタッフ全員が計画に沿って行われているかを話し合っている。ご本人や、ご家族などの新たな要望や状況の変化があった時は、そのつど話し合いを行いアセスメントをし、目標の見直し、変更をしている。また、特に変化がみられなくても、3ヶ月に一度は必ず見直しを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のカンファレンスにて、アセスメントを積み重ねると同時に、ご本人の生活の質を考えながら、表出されていない本人の本音を把握し支援に繋げたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・各、勤務者が、それぞれ個々の生活記録に記入し全員が目を通して。気付いた事や、工夫した事は、その都度ミーティングを行い統一した介護が継続できるよう活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・特別養護老人ホーム・デイサービスが併設している為、他部署と合同での行事やレクリエーションに参加し、お互いの交流が深められるよう支援している。また、個々の要望に応じ、他部署の協力を得、利用者様同士の交流を深め互いに馴染みの関係を築けるよう支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・地域の日赤ボランティアの方に、月2回の訪問にて、外出支援や話し相手、レクリエーションをして頂いている。また、ボランティアの方の訪問落語などを通じ、利用者様との交流をして頂いている。		・今後は利用者様の作られた作品を通じて、消防や教育機関などへ訪問し、交流をはかっていきたい。
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・併設特養のバイキング等の食事支援や無料町民健康診断等の社会資源の活用等を行なっている。・移動美容室の訪問や、地域のクリニックの往診を行っている。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今までそういった例がない。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・地域の医療機関から、月2回の往診と24時間体制で、緊急時などの対応をして頂いている。 ・希望される方に関しては、これまで、かかってみえた医療機関に継続してかかられている方もいる。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・主治医の先生に相談したり、必要に応じて併設特養の精神科医の先生に助言を頂いたりしている。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・併設の特別養護老人ホームの看護師に相談したり、協力を得ている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・職員が面会したり、ご家族や病院と情報交換しながら連携をとっている。 ・お互い、馴染みの関係が途切れないよう、時には、他の利用者様と一緒に面会などの支援を行っている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアは行っていない為実施していない。 ・入院等が長期的な傾向にあるなどの場合は、御家族や意見等を聞き話し合っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>・家族、職員との間で死生観について考えの共有、医師の協力などの課題等の検討を行なってゆきたい。</p>
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>・介護サマリー等、利用者様の心身の状況や生活の様子等、御家族や移動先の施設等に提供をしている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・個人情報に関係した書類は外部に持ち出さない。また、不要になった書類は、シュレッターにかける等の対応している。常に自分達には守秘義務がある事をミーティングで確認しあっている。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>・何かを行っていただく時は、ご本人が決定しやすいように、選択法などを用いて納得して頂けるよう言葉掛けに工夫をしている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・毎朝のミーティングにて、各入所者様の体調や精神状態などの情報を得て、余暇活動の時間を家事・手芸・読書、個別や全体での外出やレクリエーションなどを、個々の希望に合わせ無理のないように支援している。</p>	<p>・一日をどう過ごしたいか等、個々の入所者様が、今以上に意思決定ができるよう支援していきたい。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>・毎日、ご自分で好みの服を選んで着てみえます。</p> <p>・2ヶ月に一度の訪問美容を利用し、好みの髪型にされています。また、希望される方は、いきつけの美容院を利用して頂いています。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・利用者様と職員が共に協力し、献立を決め準備から後片付けまで個々の力が発揮できるよう取り組んでいる。 ・楽しく食事ができるような話題づくりに努めている。		
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・毎日の飲み物やおやつは個々に選択して頂く工夫をしている。また、ヤクルトやパンの定期的な訪問販売を利用し好みの物を選んで頂く機会を作っている。 ・個人が特別な物を希望される時は、ご本人や周りへの配慮を行っている。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・排泄機能の低下している方は、排泄パターンを把握する為に、排泄チェックシートを活用し、できる限りトイレでの排泄ができるよう支援している。また、本人に合った使用物品を選び定期的に見直しをしている。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・希望される方には毎日入浴して頂けるようにしている。毎日希望されない方でも、できる限り一日置きに入浴して頂けるよう順番は決めずタイミングや希望に合わせて支援している。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・ソファや椅子などで休まれていても、その場所で良い場合には、様子、見守りし、一番ゆっくり休める場所で休んで頂いている。 ・安心して快適に眠れるよう、その人にあった室温や環境を調節する。また、眠れない方には薬に頼らず、話しをしたり飲み物を飲んで頂いたり、その時にあった対応をしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・ご本人やご家族からの情報、生活歴を参考に趣味や得意な事を探し、手芸・園芸・将棋などを楽しめるよう支援している。また、ゆっくりした時間をつくり、その人にあった楽しみや気晴らしができるよう、週に1回はゆとりのある日を作っている。		・週に1回の支援日が定着し、入所者様と職員が、共に、楽しみの日になるよう充実していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・自己管理ができる方には、ご家族と相談の上、財布を持って頂いている。それにより安心して自由にお金を使えることの楽しみをもてるようにしている。・買い物や訪問販売等の支払いなどに関わる機会を増やし、社会生活上の行為を維持できるように支援している。		
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日々の食材の買い物の際は利用者様のその日の様子を見ながら、一緒に言っていただけ言葉がけの工夫（新鮮な物の選び方を教えて頂けますか？など）をしている。外出者が偏らないようにするため記録を残し、全員が外出できるよう支援している。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・日常会話のなかから、本人の行きたい所や、思いつく場所を探り、週に1回の支援日を利用して外出しています。また、面会時ご家族より、本人との外出に、どう接したら良いのか不安を持たれ、同行を希望された為、職員も一緒に外出支援を行った事もあります。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・公衆電話が設置されているので、時々、ご家族に電話されたり、かかってきてお話されています。 ・手紙やハガキを出したいと希望があった時には、便箋購入から投函するまで、ご本人と一緒に支援しながら行っている。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・面会時は、ご本人と職員が出迎えるようにしている。他の利用者様に、お茶をだして頂き、居室にてくつろいで話しができるような環境づくりをしている。・御面会時間は、指定していますがお忙しい中での事と察していますので事前の連絡等いただければ対応させていただきます。いつでも面会ができる事を伝え、気軽に訪問して頂けるよう心がけています。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・委員会を設け、全部署が身体拘束について取り組んでいる。 ・介護事故・ヒヤリハット等の研修に参加し、カンファレンスにて職員全員が身体拘束に対する意識を高めている。 ・個々に精神的・身体的なアセスメントの見直しを常に行い、生活環境の改善を図ったり、ケアの見直しをしながら、身体拘束を行わないケアに努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・日中は、居室や玄関には鍵はかけないようにしている。 ・苑庭への出入りは、自由になっており必要時、見守りや付き添いなどし、対応している。 		
67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様には、常に自由にして頂いているが、職員は常に声をかけあい、利用者様の様子や所在場所を把握しながら安全に努めている。 ・夜間は定時の巡視を行い、安全に配慮している。また、不眠や不穏の利用者様に対しては、その都度、本人の状態や気持ちに合わせた対応を行っている。 		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・洗剤、消毒など、危険のあるものは鍵をかけて保管している。 ・その方の力を活かした日常生活が楽しめるよう、例えば、手芸が趣味の方に関しては、介護士が本人と共に、針の確認をするなどして個々に対応している。 		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会を設け、その他、研修や定期的に救命救急講習会などに参加をし、知識を得ている。 ・事故発生時やヒヤリハット時は、事故報告書にて職員間で話し合いをし、再発の防止に努めている。 		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は、市町村で行われる救命救急講習会に定期的に参加し、技術を習得している。 		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は、隣接している施設の全体で行われる避難訓練に参加し、災害に備えている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、利用者様と共に、地域の方々や他の事業所の協力を得られるように働きかけていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・日々の暮らしで起こりえる転倒、その他のリスクについては、面会時やケアプラン説明時に、その都度、説明し理解を得るよう努力している。また、普段からご家族と連絡を密にし、良い関係作りに努めている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・定期的なバイタルチェックや体調の変化に注意し、特変時は、速やかに報告し合い、早期の対応に努める。また、必要時は併設の看護師の協力を得ている。 ・経過については、詳しく記録に残し、介護が継続できるようにしている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・各利用者様が服薬されている薬は、処方箋などで職員は把握し理解している。 ・投薬に関しては、同じ職員が関わらないように工夫している。 ・往診時は、日常の記録や変化について、医師に詳しく情報提供をしている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・便秘傾向の利用者様には、定期的に、せんい入り飲料水を飲んで頂いたり、ヤクルト・ヨーグルトその他、食事のメニューにも工夫し、水分も多くとれる様に促し、リハビリ体操や運動などで、体を動かせるよう支援している。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後、必ずうがいをしている。残菌のある方には歯ブラシでブラッシングをして頂いている。 ・夕食後、義歯を取り外し、定期的に消毒を行っている。		・うがいのできない方は、口腔ケアが不十分なため、その方に合った方法を見つけ、清潔保持に努めていきたい。
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・栄養のバランスが偏らないよう毎回、食材を考慮して調理している。また、摂取量を記録し、その人に合った盛り付けや、食べやすいサイズ、硬さを工夫している。 ・必要に応じ、併設する施設の栄養士に相談している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・感染症委員会を設け、マニュアルを作成し、それに沿って実施している。また、研修に参加し知識を得ている。 ・毎食・おやつ時、外出後などは、うがい・手洗いを実施している。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・毎食事の前には、手洗いと温かいオシホリを提供している。 ・新鮮な食材の使用に関しては、ほぼ毎日の買い物に心がけている。 ・まな板の使い分けをし、調理用具は衛生管理の為、ハイター洗浄・乾燥機による殺菌を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・グループホームとわかるように、出入り口に表札をつけている。 ・玄関周りは、季節の花を育て明るい雰囲気にして いる。 ・建物の周囲はウッドフェンスにして家庭的な雰囲気 にしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・お正月・七夕・クリスマスなどには、季節感がでるような物を、利用者様と一緒に手作りして飾りつけをしている。 ・居間や廊下にはソファを置き、ゆったりとくつろげるよう、空間作りをしている。 ・よしずを利用し、不快な光が居間や、居室に直接当たらないよう配慮している。 ・居間では、くつろぎのある音楽を流し、落ちついた雰囲気 づくりを工夫している。		・今後は、余暇活動を利用しながら、季節に合わせた作品づくりをし、生活感ただよ空間づくりをしていきたい。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・居室以外の、廊下・窓際・玄関・テレビ前などにソファや椅子を置くことにより、利用者様一人、一人が思い思いに過ごせるよう工夫している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	・ご本人が使い慣れた家具や机などを持ってきて 頂き、自宅と同じように居心地よく過ごせるよ う、ご家族と相談しながら工夫している。		
84 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	・各居室に温度・湿度計を設置し、個々の希望に 配慮しながら、その日の気温に合わせ、こまめに エアコンの調整や空気の入替えを行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	・その人の残存機能を活かして、自立を妨げない よう、周りの環境を整え、立ち上がりや移動に合 わせて、手すりやシルバーカーを使用し、安全 に、安心して生活が送れるよう工夫している。		
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	・各居室やトイレに、利用者様のお名前や使用 方法を、見やすいように表示している。また、認 識しにくい方には、パフォーマンスや言葉掛けし て、説明しながら関わっている。		
87 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	・玄関からだけではなく、廊下からも苑庭に出る事が でき、天気の良い日には、お茶を飲んだり、食事をし たり、季節によっては花見をして楽しんでいる。 ・各居室にベランダがあり、そこで、園芸・布団干し 掃除・外をながめて気分転換するなどして、個々に楽 しまれている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/> 大いに増えている <input type="checkbox"/> 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> あまり増えていない <input type="checkbox"/> 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/> ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)